

数式処理と動的幾何のプログラムの 連携による図形問題の解法と教育利用

高遠節夫

KeTCindy センター

日本数学教育学会名誉会員

JSSAC-E

2025.08.26

和算の問題と数式処理

和算の図形問題

- 算額の問題の答と術は簡単にしか書かれていない

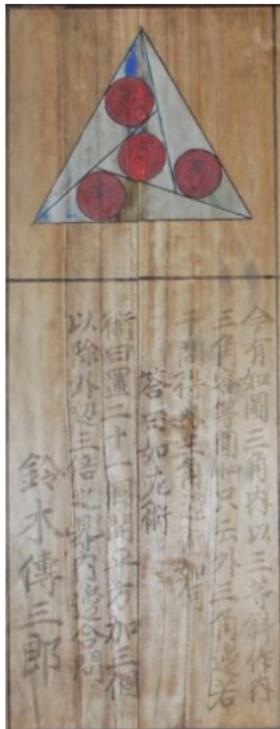


Fig.1 福島県郡山市見度神社 (1986)

- 右から4番目は以下の問題 2.1.7として掲載

深川・ペドー「日本の幾何—何題解けますか」森北出版 1991

問・答・術の例



(問) 今有如図三角内以三等斜作内三角容等円
四只云外三角辺若干問得容三角辺如何

(答) 答曰如左術

(術) 術曰置二十一個開平加三個以除外辺三倍
之得内辺合問

$$\text{内辺} = \frac{3 \text{ 外辺}}{3 + \sqrt{21}}$$

- 数式処理で解こうとしても、無理式が現れるため求解が難しい
- そこで mnр 法を開発した

mnr 法の開発

- $m = \tan \frac{B}{2}, n = \tan \frac{C}{2}$

$r =$ 内接円の半径

$\angle B = (m), \angle C = (n)$ と記述

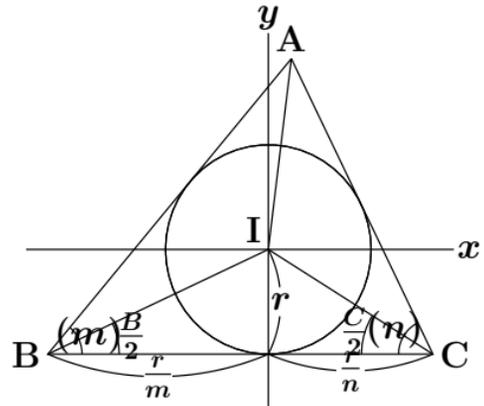
- 三角形の諸量は m, n, r の有理式で表される

$$\text{vtxL}:\left(-\frac{r}{m}, -r\right), \text{vtxR}:\left(\frac{r}{n}, -r\right), \text{vtxT}:\left(\frac{r(n-m)}{1-mn}, \frac{1+mn}{1-mn}\right)$$

$$\text{edgB}:\frac{r}{m} + \frac{r}{n}, \text{edgL}=\frac{r(1+m^2)}{m(1-mn)}, \text{edgR}:\frac{r(1+n^2)}{n(1-mn)}$$

内接円 inC, inR, 外接円 cirC, cirR

傍接円 exCa, exRa, exCb, exRb, exCc, exRc



mnr 法の主コマンド

- 基本コマンド

putT(m,n,r) 内心を原点にして三角形をおく

slideT(p1,p2) p1 が p2 に一致するように平行移動

rotateT(m,p) p の周りに (m) だけ回転

- 式変形の主なコマンド

numer(f),denom(f) 分子分母を因数分解

frfactor(f) 分数を簡単化

frev(eq,rep) eq に rep を代入して簡単化

ratden(s,x,a) 分母の有理化 ($x=\sqrt{a}$)

図形のための主なコマンド

- 角の変換

`supA(m),comA(m)` 補角と余角

`plusA(m1,m2),minusA(m1,m2)` 角の和と差

`timesA(nn,m)` 角の整数倍

- その他

`dotProd(v1,v2),crossProd(v1,v2)` 内積と外積

`lenSeg2(p1,p2)` 距離の平方

`meetLine(pts1,pts2)` 交点

`comTan1,comTan1C` 共通外接線, 共通内接線

Maxima ライブラリの作成

- `mnr.max`(普通は `mac`)
 - 全体の行数は約 500 行
- プログラミングの重要性 1

```

1 supA(m):=ratsimp(1/m)$ /*hokaku*/
2 comA(m):=ratsimp((1-m)/(m+1))$ /*yokaku*/
3 plusA(m1,m2):=ratsimp((m1+m2)/(1-m2*m1))$
4 minusA(m1,m2):=ratsimp((m1-m2)/(1+m2*m1))$
5 timesA(nn,m):=block([k,mm],
6   mm:m,
7   for k from 2 thru nn do mm:plusA(mm,m),
8   return(mm)
9 )$
10 edg2m(c,a,b):=block(
11   [cs,out],
12   cs:(a^2+b^2-c^2)/(2*a*b),
13   out:sqrt(frfactor((1-cs)/(1+cs))),
14   out:frfactor(out)
15 )$
16 m2edg(m,a,b):=block(/*250311*/
17   [cs,out],
18   cs:(1-m^2)/(1+m^2),
19   out:sqrt(frfactor(a^2+b^2-2*a*b*cs)),
20   out:frfactor(out)
21 )$
22
23 cos2m(c):=block(
24   [out],
25   out:sqrt(frfactor((1-c)/(1+c))),
26   out:frfactor(out)
27 )$

```

KeTCindy の外部呼び出し

- KeTCindy は動的幾何 Cinderella2(以下 Cindy) の関数ライブラリ (約 29800 行) **プログラミングの重要性 2**
- 元々は T_EX の描画ファイル作成を目的として開発
ketcindy home から自由にダウンロードできる
- 現行の Cindy には KeTCindy の Java ライブラリ KetCindyPlugin.jar が最初から組み込まれている
 - ・ ソースは約 540 行 **プログラミングの重要性 3**
- この jar の中で Maxima,R,GCC,WolframEngine などの外部プログラムを KeTCindy から実行する Java 関数が定義されている

KeTCindy と mnr 法

ファイルの準備

- (1) KeTCindy の 1 つのファイルをフォルダに入れる
 - ファイル名を例えば sample(.cdy) と変更
 - (2) sample の ketlib に Readymnr(1,1,1)¹ を書いて実行
 - 画面に実行ボタン 1, 2, ... ができる
 - sampleketlib.txt => Ketlib スロットにコピー
 - samplefigures.txt => Figures スロットにコピー
 - samplemcmd.txt にスクリプトを記述
- ⇒ 動画 : samplecdy.mov

¹ mnr 法のために ketcindy に追加 プログラミングの重要性 4

基本例 (三角形の内心公式)

$$\bullet \quad \vec{OI} = \frac{a\vec{OA} + b\vec{OB} + c\vec{OC}}{a + b + c}$$

$$\vec{BI} = s \left(\frac{\vec{BC}}{a} + \frac{\vec{BA}}{c} \right), \quad \vec{CI} = t \left(\frac{\vec{CB}}{a} + \frac{\vec{CA}}{b} \right), \quad \vec{BC} + \vec{CI} = \vec{BI}, \quad \vec{CA} = \vec{BA} - \vec{BC}$$

これらの式を用いて、 \vec{BA}, \vec{BC} だけの式にすれば、

$$\left(1 - \frac{s}{a} - \frac{t}{a} - \frac{t}{b} \right) \vec{BC} + \left(\frac{t}{b} - \frac{s}{c} \right) \vec{BA} = \mathbf{0}$$

\vec{BA}, \vec{BC} は一次独立だからそれらの係数 = 0 より、

$$t = \frac{ab}{a+b+c}, \quad s = \frac{ac}{a+b+c}$$

となるから、これらを $\vec{BI} = s \left(\frac{\vec{BC}}{a} + \frac{\vec{BA}}{c} \right)$ に代入する。また、任意の基準点を O とすれば、

$\vec{BI} = \vec{OI} - \vec{OB}$, $\vec{BC} = \vec{OC} - \vec{OB}$, $\vec{BA} = \vec{OA} - \vec{OB}$ などを用いて整理すれば次の式が得られる。

$$\vec{OI} = \frac{a\vec{OA} + b\vec{OB} + c\vec{OC}}{a + b + c}$$

Gemini に質問

- 三角形の内心の座標を 3 頂点から求める公式はどのように導出するのですか

<https://s-takato.github.io/specialclass/25jssac0826/GoogleGemininaisin2.html>

- Gemini は正しい答えを返す

cdy ファイル (figures スロット)

```
10 mkgcmd1();
11 if(contains(Ch,1),
12   Setmnrstep(1);
13   CalcbyMset(var1,"mxans1",cmdL1,op(5));
14   Disptex(Pos,Dy,1,var1);
15   m=tanhalf(50); n=tanhalf(65); r=1.5;
16   Parsevv("A::B::C::P::r");
17   dispfig1();
18 );
```

10 mkgcmd.txt に書かれた cmdL1 などを読み込む

13 cmdL1 を実行して結果を var1 に代入*

14 var1 の値を画面に表示*

16 A などの値を評価して A などに割り当てる*

17 図を描く

* プログラミングの重要性 5

mkcmd.txt (実行スクリプト)

```

1 mkcmd1(C):=(↓
2   cmdL1=concat(Mxbatch("mnr"),[↓ mnr.max を batch で読み込む
3   "putT(m,n,r)",↓          内心を原点とする三角形をおく
4   "A:vtxT; B:vtxL; C:vtxR",↓  頂点と辺に名前をつける
5   "a:edgB; b:edgR; c:edgL",↓
6   "P:frfactor(a*A+b*B+c*C)",↓  分数 a*A+b*B+c*C を簡単化
7   "end"↓
8   ]);↓
9 );↓
10 var1="A::B::C::P";↓      返す変数のリスト
11 dispfig1(C):=(↓         描画のコマンド
12   Listplot("1",[A,B,C,A]);↓
13   Circledata("1",[P,r]);↓
14   Pointdata("1",[P],["Size=4"]);
15 );↓

```

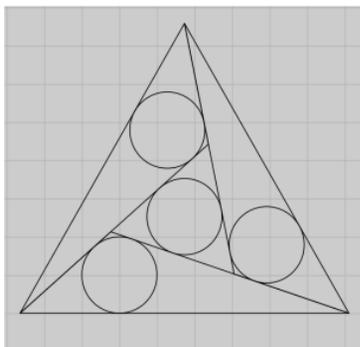
プログラミングの重要性 6

デモ (内心公式)

- `naisin.cdy(+naisinmkcmd.txt)`
 - (1) 原点が内心の場合
 - + T_EX 出力
 - (2) 一般の場合
 - + `ketcindy` で動的にもできる

見渡神社算額の解法

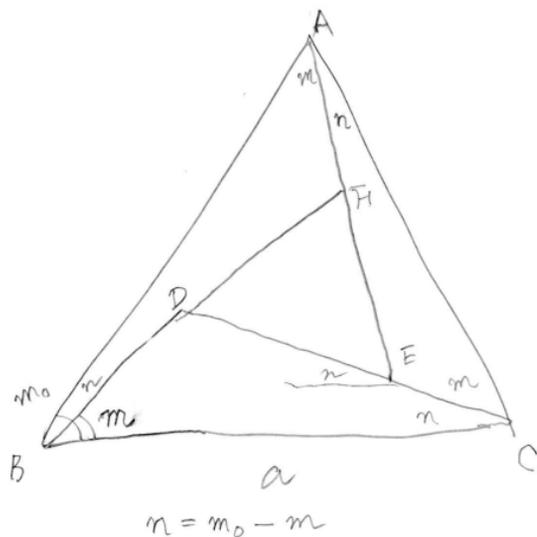
Gemini に質問



- 「図の正三角形の一边を a とする．中にある 4 つの円の半径が等しいとき，中にある正三角形の一边の長さを a で表せ」という問題の解答を教えてください

<https://s-takato.github.io/specialclass/25jssac0826/GoogleGeminimiwatari.html>

ラフ図とスクリプト (Maxima)



```

27 mkcmd2() := (↓
28   cmdL2 = concat(cmdL1, [↓
29     "putT(m0, m0, r)", ↓
30     "slideT(vtxR, E)", ↓
31     "rotateT(-minusA(m0, m), E)", ↓
32     "I0: inC; edg: edgB", ↓
33     "eq: numer(vtxL[1] - D[1])", ↓
34     "sol: solve(eq, m)", ↓
35     "end" ↓
36   ]); ↓
37 ); ↓
38 var2 = "eq: :sol"; ↓

```

有理化の威力

- (1) 分母分子を $m0^2 - 1/3$ で割ったときの余りを求める
- (2) 分母分子とも $m0$ の高々 1 次になる
- (3) 分母を有理化する

デモ

プログラミングの重要性 7

```

41 mkcmd3():=(<
42   cmdL3=concat(cmdL2,[<
43     "eqr:ratden(eq,m0,1/3)",<
44     "eqm:nthfactor(eqr,1)",<
45     "eqm:nthfactor(eqm,2)",<
46     "sol:solve(eqm,m)",<
47     "m:frev(m,sol[2])",<
48     "I0:frev(I0,sol[2])",<
49     "I0:ratden(I0,m0,1/3)",<
50     "eb0:frev(edg,sol[2])",<
51     "rat1:frf(edg/eb1)",<
52     "rat2:frev(rat1,<
53       [m0=1/sqrt(3),m=1/sqrt(7)])",<
54     "end"<
55   ]);<
56 );<

```

結論

- (1) mnr 法は平面図形問題を数式処理で厳密に解くために有力な方法
- (2) ただし解法ツールとして多くのプログラム作成が必要
- (3) そのためのプログラミング力がキーになる
- (4) 「有理化」のように，問題に特化した工夫が必要な場合もある
- (5) そのような工夫を考え出すことも mnr 解法の醍醐味

補足：Geogebra との違い

Gemini に質問してみた

- Geogebra で図形の問題を厳密に解くことはできますか
- Geogebra の数式処理機能で少し長いプログラムを書くことはできますか

[https://s-takato.github.io/specialclass/25jssac0826/
GoogleGeminigeogebrazukei.html](https://s-takato.github.io/specialclass/25jssac0826/GoogleGeminigeogebrazukei.html)

KeTCindy と Maxima による mnr 解法は Geogebra とは全く違う図形問題へのアプローチである